

北日本新聞の八月十四日の七面の社説の

記事について

立山町立雄山中学校 一年 中村 ラオ

この日の社説は「子どもとスマホ」という  
テーマでした。小中学生でスマホやゲーム機  
を長時間使用していたり、LINEやメール  
などのやりとりの中で傷付くような言葉を書  
かれたり仲間外れにされたりして、いじめに  
もつながる危険性があるので県内の小中学校  
では学校独自でルールを設けて一定の使用制  
限に取り組んでいるという内容でした。

私は小学五年生の時から、子供ケータイを  
持っていますか友達とLINEやメールをす  
ることはできないタイプの携帯電話です。な  
のでこのテーマに挙げられている対象者では  
ありませんが、私のクラスメイトの中にはス  
マホでLINEやゲームをよく使っているとい  
う話をよく耳にします。スマホは遠くに住  
む人とも身近にフながる事が出来たり、多く  
の情報を簡単に得る事が出来たりするので、

とても便利な道具だと思います。けれど良  
所ばかりではなく、自分が知りたくない情報  
まで入ってきてたりして気分が落ちこんだりし  
てしまう場合もあります。また、幼い年齢か  
らスマホに依存をしてしまうと大人になっ  
ても周りの人とのコミュニケーションをとるこ  
とが苦手になったり、使う時間が長くなりす  
い眠不足や、勉強時間も足りなくなっ  
て規則正しい生活習慣が乱れてしま  
います。

私は、学校自身でスマホやゲーム機につ  
まルールを決めていることは、とても素晴  
しいことだと感じました。自分の学校でもこ  
の活動を取り入れていけたら、スマホやゲ  
ムに依存ばかりしている人も自然とふれ合  
たり、色々な人との交流などの実体験をす  
る機会を多く持てば人の温かみや、思  
いやりをエソ一層感じられると思  
います。この記事を  
読んでまずは私も、クラスでこれをテ  
ィマト  
して話し合い、みんなに意見を聞  
いてみよう  
と思  
います。